

第61回目のGIS News!です



遊佐町 吹浦 十六羅漢

『海の日』は皆さんどのように過ごされましたか。家族や恋人、友人と一緒に太陽の日差しをいっぱい浴び楽しまれた方も多いのではないのでしょうか。学生さんは夏休みに入り羨ましい限りですが、我々社会人はこの暑い時期もせせと働かなければなりません。暑さに負けず張り切っていきましょう。

地域に密着したGIS

今回はエリアマーケティングについて説明致しましたが、地域特性を把握する為の他の方法として、地元でしか分からない特殊な環境や事柄、風習、地域産業などの情報収集があげられます。

地域の歴史や日常におこなわれている事柄というのは、その土地に住んでいる人々がよく知っています。このような情報をプラスすることでエリアマーケティングのみならず、住民へのきめ細かいサービス提供が出来るのではないのでしょうか。いわゆる地域密着型のGISということです。

地域密着型GISを作成するためには、その地域の特性情報が必要です。情報収集のやり方として次のことが考えられます。

- (1) 地元住民から聞き取り調査を行う。
- (2) 地域の地理、歴史などに熟知した専門家から情報を得る。
- (3) 地元自治体から情報提供を得る。(大学や研究団体との連携)

今後は、地域のマーケティングや住民の要求に合ったGISを発注者と協議し、「地域密着型のGIS」の構築を地元企業が行う必要があります。それにはシステムの応用開発を行ない、それなりのカスタマイズサービスの提供が出来る技術力が要求されます。

直感的に把握できるGIS

GISの特徴は、いろいろなデータを画面上に地図表示することが可能です。文字や数字だけではつかみにくいことも、自分の見たいデータだけを地図上に重ね合わせ、視覚的・直感的に把握できるのです。また、データが古くなくても無駄にはならず、過去のデータとして表示させることができ大事な統計資料にもなります。これらの情報が、地域特性の把握や店の顧客エリアの分析、将来の出店計画等といったことに活用できるのではないのでしょうか。

地域に密着したシステム作りが、今後いっそう必要とされてきます。

次回のGIS News!

次回は2003年8月4日発行予定です。よろしくおつき合い下さい!

Geographic Information System

記事：協同組合山形県地理情報センター 笹原 祥司 発行日：2003年7月22日

